露地野菜集出荷システム整備計画

令和　年　月

事業実施主体○○

１　集出荷システム導入の目的・取組を実施する産地の範囲

○○市、○○市（品目名○○、○ｈａ）

当地域は○○生産を主体とし発展してきた地域で、○○は○○市の主力品目となっている。しかし、高齢化による生産構造の変化や近年の労働力不足により、今後産地の縮小が懸念されている。（産地計画で分析）そこで、鉄コンを主体とした流通体系を導入することで、農家の労力軽減により１戸当たりの作付面積の拡大を図り、産地の拡大を目指す。

２　集出荷システムの整備候補地の概要

　（１）候補地名：

ＪＡ○○エリア　○○倉庫（○○市）

（２）農用地面積（田、畑など）：

○ｈａ

（３）地域農業の現状、課題と対応方針、取組により期待される効果、目標達成に向けた取組：

　　・地域内にある○ｈａの全ての面積で、現在はプラスチックコンテナでの収穫、手作業での圃場搬出、集荷所搬入が行われている。

　　・現状手作業のため、高齢になると重量品目である○○の作付けは避けられ、より軽量な野菜へと転換されている。また、労働力不足のため収穫作業が進まず、作付けが減少している。このため、軽労化や労働力軽減が期待される鉄コン荷受け・集荷システムを導入する。

　　・システム導入により、生産現場での軽労化が図られ１戸あたりの作付面積が拡大すると見込まれる。また、合わせて機械化体系を推進することにより、農家経営の継続性も期待される。

　　・現状は○名、○ｈａ（平均面積○ｈａ）であるが、導入後は○名、○ｈａ（平均面積○ｈａ）を目指す。（産地全体）

　・目標達成に向けシステム活用を推進するとともに、関係機関一体となり新たな栽培者の掘り起こしも行う。

３　集出荷システムの整備イメージ

　　　現在は集荷所として使用しているＪＡ所有の倉庫に当事業を活用して鉄コンテナを活用した集出荷システムを整備する。

園芸団地のイメージ図（別紙参照）

整備後

現状

４　集出荷システムの運営

　（１）導入規模（受益面積）

○ｈａ

（２）品目

　　　○○

（３）運営主体

佐賀県農業協同組合

　（４）システムの活用者の選定方法

　　　　農家の手上げ方式により選定する。

　（５）受益農家名及び面積一覧

　　　　別紙参照（事業実施計画書で確認できる場合は不要）

５　今後の整備・推進計画

整備・推進内容（スケジュール）

　　・今回導入したシステムと合わせて県単事業等を活用した機械化体系を推進する。

　　・鉄コンによる荷受けが増加すれば、近隣にある○○倉庫も活用を検討する必要があるが、その場合施設の改修整備が必要となる。